

空港業務DX推進官民連絡会の設立について

国土交通省航空局

定期航空協会

一般社団法人全国空港事業者協会

空港グランドハンドリング協会

令和6年6月20日



- コロナ禍がようやく終わりを迎え、航空旅客数においても、国内線はほぼ回復し、国際線もインバウンド復調に伴い7割以上まで回復。
- その一方で、グランドハンドリングや保安検査をはじめとする空港業務は、生産年齢人口の減少による人手不足や、今後の航空需要の増大への課題を抱えており、省力化・自動化などのDXの取組が不可欠。
- 人手不足への対応やストレスフリーで快適な旅行環境の実現させるために、官民一丸となり、空港業務DXを推進。

空港業務DXの枠組み



- 空港業務の生産性向上と旅客目線での利便性向上は、空港業務の従事者と空港利用者の相互に裨益する。
- 今後の航空需要の増大に対応するためには一体的にDXに取り組むことが必要である。

官民連絡会の設立目的・役割

- 官民一体で空港業務DXを推進するために、平成29年度より開催してきた「航空イノベーション推進官民連絡会」を拡大し、「空港業務DX推進官民連絡会」を開催。
- 本連絡会では、従来のFAST TRAVELの推進に加え、空港業務の生産性向上に向けた技術の導入・開発等の報告・共有、関連するメーカーから最新技術の動向を紹介、ニーズ／シーズのマッチングを促進し、官民関係者で空港業務DXを推進することが目的。
- また、本連絡会は、航空局、定期航空協会、一般社団法人全国空港事業者協会、空港グランドハンドリング協会の4者による共催。

グラハン、保安検査



手荷物受付



手荷物検査



トーイングカー

空港業務DX推進官民連絡会

主催：航空局、定期航空協会、(一社)全国空港事業者協会、
空港グランドハンドリング協会



関連メーカー



自動手荷物預入機



CT型X線検査機

スマートレーン



リモコン式航空機牽引機

- 本連絡会は、航空関係事業者、関係団体、空港管理者や関連するメーカーなど関係者からご参加を頂き、空港業務の生産性向上やFAST TRAVELを主な議題とし、関係者から取組状況や技術情報について発表。

【開催概要】

■主催者

国土交通省航空局、定期航空協会、(一社) 全国空港事業者協会、空港グランドハンドリング協会

■参加者

航空会社、航空会社運営評議会 (AOC)、国際航空運送協会 (IATA)、国内定期航空保安協議会、Aviation Security Study Group (ASSG)、空港会社・空港ビル会社、グランドハンドリング会社、関係企業、関係行政機関

■主な議事

- ① 空港業務の生産性向上について
行政関係者、関係団体、航空会社、メーカー等から発表
- ② FAST TRAVELの推進について
行政関係者、関係団体、航空会社、メーカー等から発表

【開催状況】

- 平成30年1月 第1回 航空イノベーション推進官民連絡会
 - (1) 航空イノベーションの推進について
 - (2) FAST TRAVELの推進について
 - (3) 地上支援業務の省力化・自動化について
- 平成31年3月 第2回 航空イノベーション推進官民連絡会
 - (1) FAST TRAVELの推進に向けた取組状況
 - (2) 地上支援業務の省力化・自動化に向けた取組状況
- 令和3年4月 第3回 航空イノベーション推進官民連絡会
 - (1) 旅客サービス向上に係る取組について
 - (2) 空港業務のスマート化・グリーン化について

空港業務の生産性向上 + FAST TRAVELの推進

【今回開催】

- 令和6年6月20日 第1回 空港業務DX推進官民連絡会
 - (1) 空港業務の生産性向上について
 - (2) FAST TRAVELの推進について